



結婚を望む若い人たちへの支援（平成27年12月一般質問）

2番目の課題として、若い人たちが「結婚したくても、出会いの場がない」と言われることがあげられます。

県では、こうした声に対応し、縁結びを積極的に進めていくために、今年の夏、「結婚応縁センター」を開設されました。現在、会員登録が順調に進んでいるようですし、交際が成立したペアも何組もおられるそうです。

また、県内の各地域、各団体等においても、イベントを企画し、男女の出会いの機会をつくることにご尽力をいただいています。

こうした取り組みにより、素敵な人との出会いができるよう、また、うまくマッチングが叶うよう、そして、結婚へと進んでいくことを願っています。

一方で、最近の若い人は、相手と出会う時の礼儀作法やマナーを身に付ける機会がなく、せっかく出会っても、うまく自分を表現することができないようです。登録をした人たちへ、その学びの場となるセミナーを開催するなど、何らかの企画も必要だと思います。

そこで、お尋ねいたします。

結婚を望む若い人たちの出会いの場が叶うよう、また、うまくマッチングが進むよう、今後どのように取り組まれるのか、ご所見をお伺いします。

<小松一彦健康福祉部部長 答弁>

少子化対策に関するお尋ねのうち、まず、結婚を望む若い人たちへの支援についてのお尋ねにお答えします。

県では、結婚を希望する独身男女に1対1の出会いの場を提供するため、お示しの「やまぐち結婚応縁センター」を9月に設置したところであり、会員数は今月7日現在で403名、これまでに実施した引き合わせ件数、いわゆるお見合いは62件、そのうち13件で交際が成立したところです。

会員の内訳は、男女比率が3対2で男性が多く、年齢構成は男女とも30歳代の比率が高くなっており、今後、多くの引き合わせを実現するためには、会員数の増加はもとより、女性会員や20歳代の会員の確保が必要であると考えていますので、引き続き、やまぐち子育て連盟の構成団体や、やまぐち結婚応援団等を通じて、女性や若い世代に対して会員登録を働きかけてまいります。

また、センターを通じた1対1の出会いの場づくりに加え、県内・県外合わせて4か所での「婚活イベント」の開催により、出会いの場を積極的に提供していくとともに、先月24日から開始したセンターのメールマガジン「やまぐち幸せおいでませ通信」を活用して、各地域の社会福祉協議会や民間の団体・事業所等が開催する婚活イベントの情報や婚活応援情報等を定期的に情報発信していきます。

こうした取組に加え、マッチングの成功率を高めるため、ご提案の、会員に対するセミナー等の開催についても、今後検討していきたいと考えています。

県としては、今後とも、結婚を希望する多くの若い男女に様々な出会いの場を提供し、結婚応援センターをはじめとした結婚支援に積極的に取り組んでまいります。